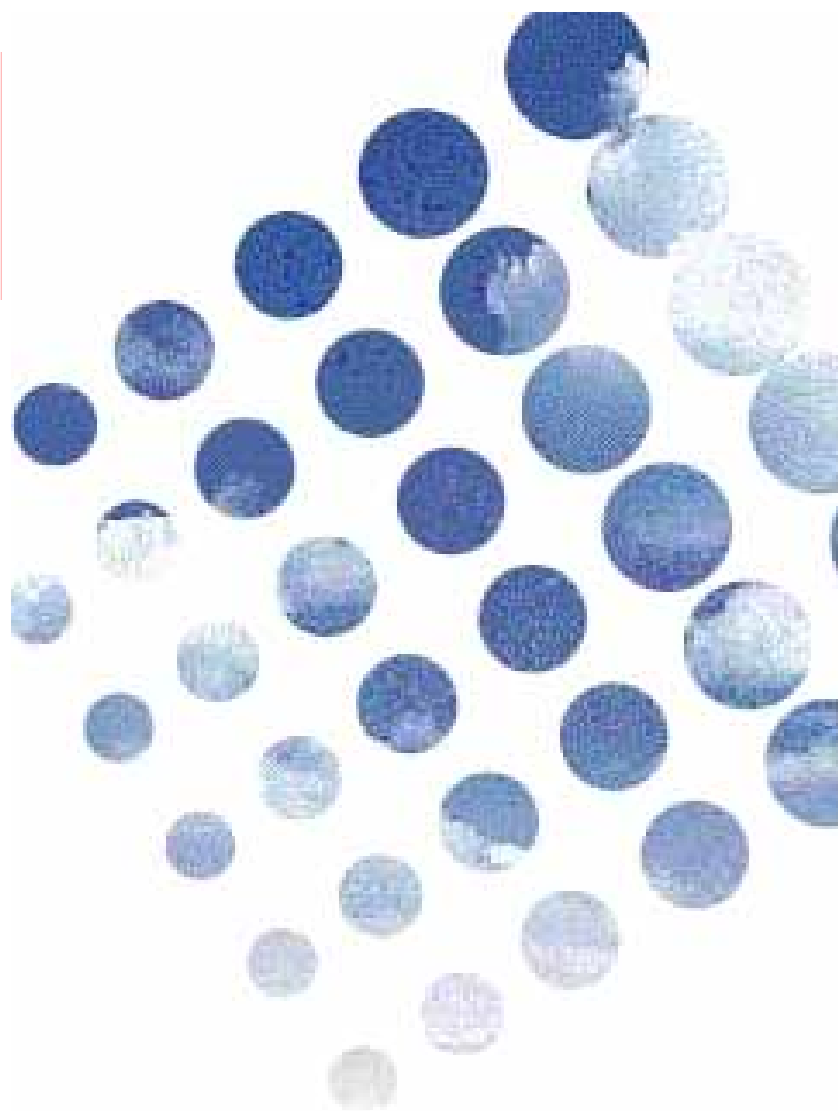
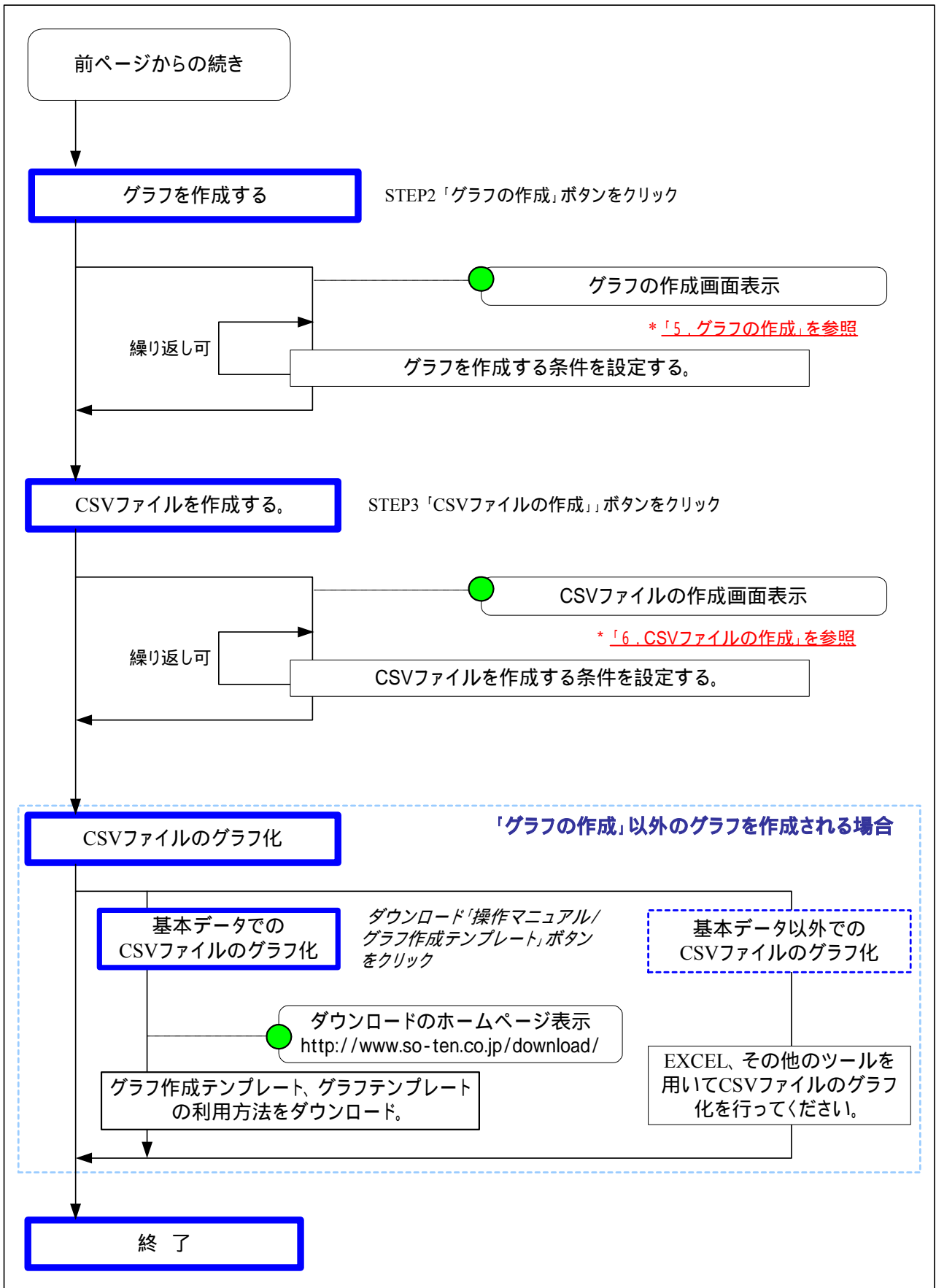


ガス



操作マニュアル  
GASAIRE 1.2-J





# 1 ライセンス登録

## 1.1 ライセンスの種類

GASAIREには大きく2種類のライセンスがあり、その種類によりライセンス登録を行う方法が異なります。

- ベースライセンス.....GASAIREを起動するために必要なライセンス
- 追加ライセンス.....対象となるホストを追加するためのライセンス

GASAIREでは、同時にアクセスするためのライセンスをCAL(Client Access License)と呼んでいます。ベースライセンスにも1CAL分含まれております。このため、例えば同時に2台にアクセスを行う場合

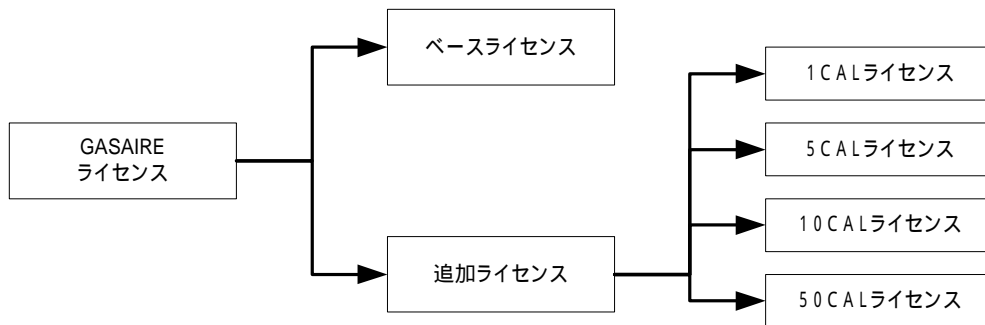
$$\text{ベースライセンス(1CAL)} + \text{追加ライセンス(1CAL)} = 2\text{CAL}$$

が必要になります。

追加ライセンスには、さらにCAL数により次の4種類あります。

(1CALライセンス、5CALライセンス、10CALライセンス、50CALライセンス)

5CAL、10CAL、50CALは特定数のライセンスのパックになっており、例えば5CALライセンスは1CALライセンス5個分に相当します。



## 1.2 ライセンスコードの見分け方

ベースライセンスおよび追加ライセンスは、それぞれ「はがきサイズ」の紙で提供され、商品名により見分けることができます。

商品名	GASAIRE
保証期間	お買い上げ日より1年
シリアル番号	5BA9 - 7375 - 2EC6 - C406
お客様	お名前 ご住所 電話番号

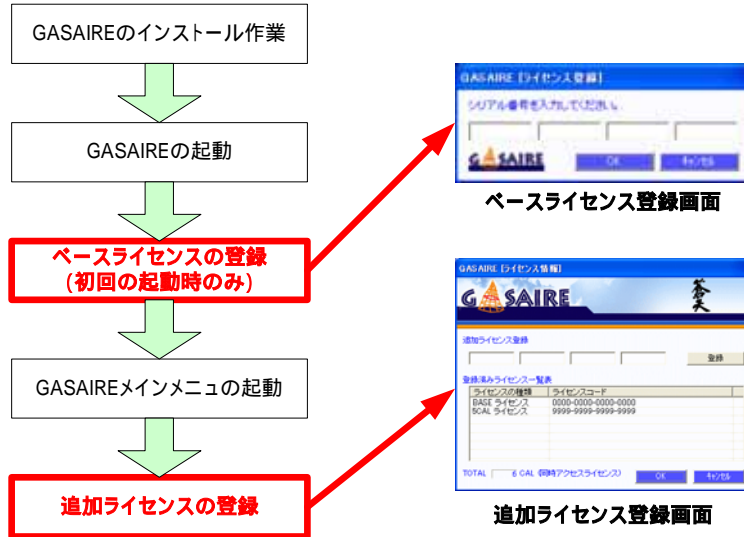
← **ベースライセンス:**  
GASAIRE

**追加ライセンス:**  
GASAIRE (1CALライセンス)  
GASAIRE (5CALライセンス)  
GASAIRE (10CALライセンス)  
GASAIRE (50CALライセンス)

## 1.3 ライセンスの登録の流れ

GASAIREをインストールされた後、初回時の起動時のみ GASAIRE [ライセンス登録] ウィンドウが表示されますので、そこではベースライセンスに書かれているシリアル番号を入力して下さい。

その後、GASAIREが起動した後 GASAIRE メインメニューの中から「追加ライセンスの登録」ボタンを押し、追加ライセンス毎に書かれておりますシリアル番号を順に入力して下さい。\*ライセンス番号により自動的にライセンスの種類が判別されます。



## 1.4 ベースライセンスの登録

- この作業は初回起動時のみ必要となります。

ベースライセンス登録には、保証書に記載されたシリアル番号が必要となります。このシリアル番号は16進数にて4文字ずつ4つのブロックに分かれて書かれております。それぞれのブロックに順に入力して下さい。

商品名	GASAIRE
保証期間	お買い上げ日より1年
シリアル番号	5BA9-7375-2EC6-C406
お客様	お名前
	ご住所
	電話番号

\* シリアル番号はパッケージ毎に異なります。

## 2 メインメニュー

[メインメニュー]とは、GASAIREのトップページのことを指します。

この画面を基点として、稼働データの収集、CSVファイルの作成、稼働データファイルの管理という3つの作業を行います。また、この画面から所定のWEBページへ遷移し、マニュアルやCSVファイルのグラフ化を行うためのテンプレートをダウンロードすることもできます。

[メインメニュー]の画面は以下になります。

The screenshot shows the GASAIRE main menu interface. The title bar reads "GASAIRE [メインメニュー]". The main content area is titled "GASAIRE メインメニュー" and "GASAIRE1.2-J". The menu items are:

- STEP 1** 稼働データの収集/監視 (Data Collection/Monitoring)
- STEP 2** グラフの作成 (Graph Creation)
- STEP 3** CSVファイルの作成 (CSV File Creation)
- ダウンロード (Download) 操作マニュアル/グラフ作成テンプレート (Operation Manual/Graph Creation Template)
- 管理 (Management) 稼働データファイル (Operational Data File)
- ライセンスの追加登録 (Additional License Registration)
- 終了 (End)

Annotations on the left side:

- このボタンをクリックし、[稼働データの収集/監視]を行います。  
[参照] 4. 稼働データの収集・監視
- このボタンをクリックし、[CSVファイルの作成]を行います。  
[参照] 6. CSVファイルの作成
- このボタンをクリックし、[稼働データファイル]の管理を行います。  
[参照] 7. 稼働データファイルの管理
- このボタンをクリックし、GASAIREの追加ライセンスの登録を行います。  
[参照] 3. 追加ライセンスの登録

Annotations on the right side:

- このボタンをクリックし、[グラフの作成]を行います。  
[参照] 5. グラフの作成
- このボタンをクリックすることで、蒼天のホームページに自動的に飛びます。[グラフテンプレート]および[操作マニュアル]がダウンロードします。(要インターネット環境)
- このボタンをクリックし、[GASAIRE]のプログラムを終了します。  
メインプログラム終了させるまでに全てのプログラムが終了させていただきます。

Copyright(c) 2003 SO-TEN Inc. All Rights Reserved.

### 3 追加ライセンスの登録

追加ライセンス登録には、保証書に記載されたシリアル番号が必要となります。このシリアル番号は16進数にて4文字ずつ4つのブロックに分かれて書かれております。それぞれのブロックに順に入力してください。また、ベースライセンスを含め登録済みのシリアル番号を確認することができ、未登録のライセンスのみ登録してください。

**\*初めて追加ライセンスの登録をされた場合には、GASAIREを再起動が必要になります。**

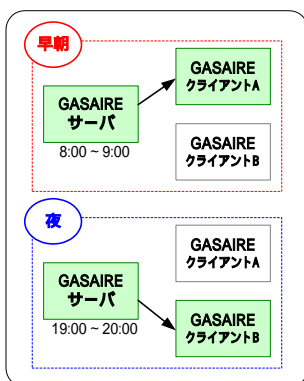
The screenshot shows the 'GASAIRE [ライセンス情報]' window. At the top, there's a title bar and the GASAIRE logo. Below that, the main area is titled '追加ライセンス登録'. It contains a form with several input fields for license details, a '登録' (Register) button, and a table titled '登録済みライセンス一覧表' (Registered License List). The table has columns for 'ライセンスの種類' (License Type) and 'ライセンスコード' (License Code). At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons, and a 'TOTAL' field showing '0' and '0' (simultaneous access licenses).

Annotations in red text point to various parts of the interface:

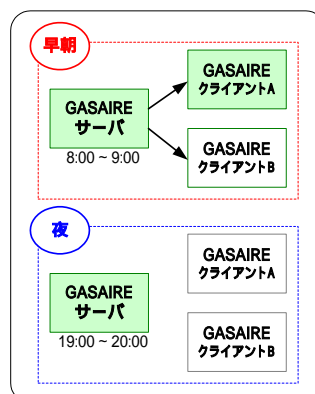
- 追加ライセンスを入力します。 (Enter additional license.)
- 登録 (Register)
- 入力されたライセンスコードを登録します。 (Register the entered license code.)
- 登録されているライセンスの種類とそのシリアル番号を確認することができます。 (You can check the type of license registered and its serial number.)
- 同時アクセスライセンスの総数がここで確認することができます。 (You can check the total number of simultaneous access licenses here.)
- OK
- キャンセル
- 登録前の状態に戻します。 (Return to the state before registration.)
- ライセンス登録を終了します。 (End license registration.)

#### 3.1 同時アクセスライセンスについて

GASAIREは、2台目以降の対象ホストからの稼働データを収集するとき「同時アクセスライセンス」が必要になります。BASEライセンスと呼ばれるライセンスには、1台分の対象ホストへのアクセスライセンス(1CAL)が標準で含まれています。



左図のように、例え対象のホストが違っていても同時アクセスが必要ないので出なければ、同時ライセンスは必要ありません。



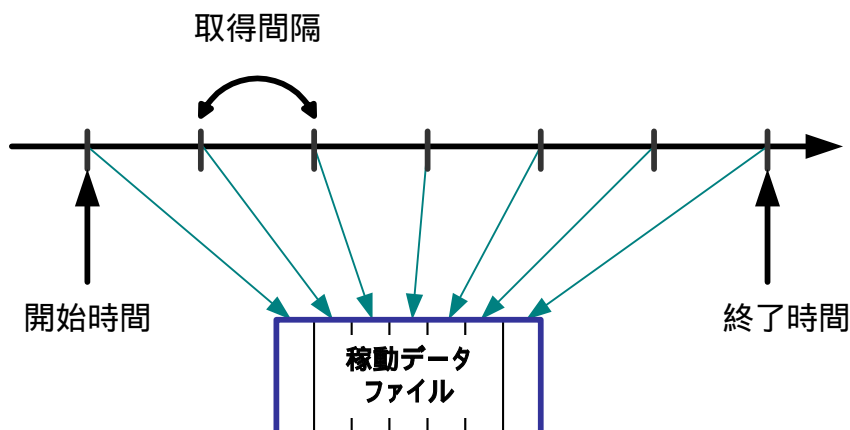
左図のように、例え未使用の時間帯がある場合でも同時アクセスが必要な場合、同時アクセスライセンスが必要です。

## 4 稼働データの収集 / 監視

GASAIRE が稼働データの収集および監視を行うための各種設定を行います。GASAIRE がその設定に従って稼働するようにスケジュール登録されます。

### 4.1 稼働データについて

GASAIRE では、スケジュールされた時間内に設定された時間間隔で稼働データを保存します。このため収集される時間が長い場合や、取得時間が短い場合稼働データは非常に大きくなります。



作成される稼働データファイルの容量の目安は、以下のようになっております。

取得時間	取得間隔	データ量
1時間	10秒	約6MB
10時間	10秒	約60MB

このため、まずは取得間隔を大きめに設定し、より詳細なデータを必要とされる部分についてのみ取得間隔を短くされることをお勧めします。

### 4.2 スケジュール設定に必要な項目

GASAIRE が稼働データの収集および監視を行うための各種設定を行います。GASAIRE がその設定に従って稼働するようにスケジュール登録されます。スケジュールの登録に必要な項目は以下のとおりです。

#### 1) 対象ホスト / 対象グループ

稼働データを収集したいホスト名またはグループを選択します。この時 GASAIRE が実行されている端末自身も対象にすることができますが、GASAIRE の処理を行っている分だけ正確な情報は捉えにくくなります。

**\*対象グループを使用するためには、同時アクセスライセンスが必要です。**

#### 2) 稼働データの取得

稼働データを収集する条件として、常に稼働データを収集する「通常処理」と指定された一定の条件(しきい値)を満たした時点から稼働データを収集する「しきい値トリガー」があります。「しきい値トリガー」では、もしスケジュールされた時間内にしきい値を超えなかった場合、稼働データは収集されないことになります。

#### 3) 開始時間

稼働データの収集を開始する時間を設定します。ここでは特定の時間を設定するだけでなく、スケジュールが登録された時点からすぐに実行される「今すぐ開始」や毎週○曜日というように定期的に繰り返し実行されるスケジュールの登録も

可能です。繰返し実行されるスケジュールに対しては、常に1ヶ月先までのスケジュールを重複チェックしており、その間で重複が発生したときは警告のウィンドウが表示されます。この警告を無視してスケジュールを実行した場合、すでに実行されているものが優先となり、後から実行しようとしたスケジュールについてはエラーメッセージとともに実行が中断されます。また、ネットワーク接続などのため、GASAIREの起動から実際に稼働データが収集されるまで数秒から数十秒かかります。対象ホストに高負荷がかかっておりWindowsがネットワーク接続を許可しない場合には、データが収集されない場合があります。

#### 4)終了時間

稼働データの収集を終了する時間を設定します。終了時間は開始時間を起点として指定します。また収集される稼働データは一定以上の大きさを超えないよう2時間毎に自動的に分割されます。

#### 5)取得間隔

稼働データを収集し次のデータを収集するまでの時間間隔を意味します。取得間隔を短くすることでより詳細なデータを収集することができますが、その分ネットワークに負荷がかかり収集されるデータが大きくなります。このためまずは取得間隔を大きめに設定し、より詳細なデータを必要とされる部分についてのみ取得間隔を短くされることをお勧めします。

#### 6)取得間隔

稼働データを収集し次のデータを収集するまでの時間間隔を意味します。取得間隔を短くすることでより詳細なデータを収集することができますが、その分ネットワークに負荷がかかり収集されるデータが大きくなります。まず取得間隔を大きくし負荷の状況をご確認の上、より詳細な稼働データを収集するために高負荷のかかる時間帯にのみ取得間隔を短くし稼働データを収集されることをお勧めします。

収集時間により設定可能な取得間隔が異なります。

取得間隔	最大収集時間
1秒	1時間
2秒	2時間
3秒	3時間
4秒	4時間
5秒	5時間

取得間隔	最大収集時間
10秒	10時間
15秒	15時間
30秒	30時間
1分	3日(72時間)
3分	1週間(168時間)
5分	2週間(336時間)

#### 7)分割単位

稼働データを取得中にCSVファイルに変換することが出来るよう、一定の時間で稼働データを分割することが出来ます。分割単位は30分、1時間、2時間から選択していただけます。

また、分割された稼働データは、グラフ作成時やCSVファイル作成時に1つにまとめることが出来ます。

例えば、10時～20時の稼働データを収集する時

分割単位「なし」→20時に10時～20時間の稼働データを1つのファイルとして作成されます。

分割単位「1時間」→11時、12時...20時にそれぞれ1時間分の稼働データを1つのファイルとして作成され、その結果、合計10個の稼働データが作成されます。このように、分割単位を利用することでスケジュール途中であっても、12時に10時～11時の稼働データが見られるように途中経過を確認することが出来ます。

分割された稼働データには枝番が1から順に付けられます。

[稼働データの収集 / 監視]の設定は以下の画面で行います。

< 1CALのとき >

登録されているスケジュールに関する情報がこの欄に表示されます。

[変更]ボタンをクリックし、スケジュール内容を変更します。

[参照]ボタンをクリックし、スケジュール内容を参照します。

[ホストの変更]ボタンをクリックし、対象ホストを追加・変更をします。

[新規]ボタンをクリックし、スケジュールの新規登録を行います。

取消

実行ログ

スケジュール情報や実行中に発生したエラーなどの情報が表示されます。

[クリア]ボタンをクリックし、ログ内容を消去します。

ログクリア

終了

対象となるスケジュールを選択し、[取消]ボタンをクリックすることで、実行前であれば[取消]を、実行中であれば「強制終了」されます。

[終了]ボタンをクリックし、プログラムを終了します。

実行中のスケジュールがある場合強制終了されます。

< 2CAL以上のとき >

2CAL以上の時には、グループの登録、変更を行うための[グループの変更]ボタンが表示されます。

[グループの変更]ボタンをクリックし対象グループの追加・変更を行います。

新規

変更

参照

ホストの変更

グループの変更

取消

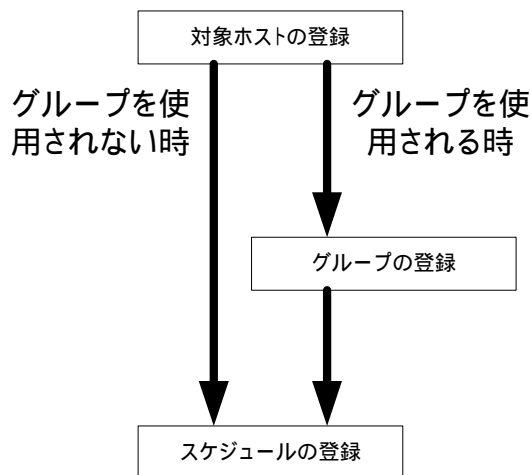
実行ログ

ログクリア

終了

### 4.3 対象ホスト、グループを登録する

対象のホストを変更するとき GASAIRE に対象のホストあるいはグループ名を事前に登録する必要があります。また、グループを登録する際にもその対象になるホストを事前に登録する必要があります。

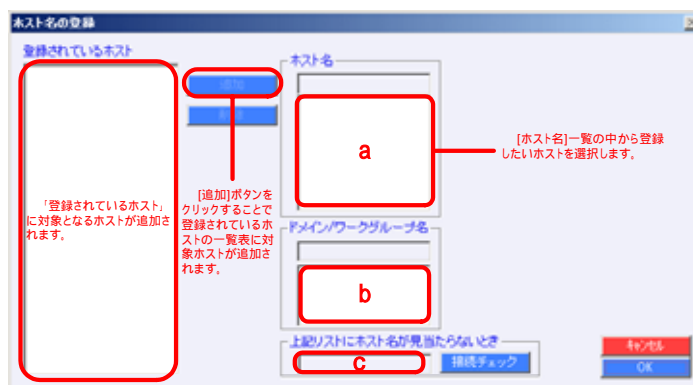


### 4.4 対象ホストを登録する

対象ホストを登録するために GASAIRE [稼働データの収集 / 監視] 画面から [ホストの変更] ボタンを押して下さい。



[ホスト名の登録] 画面で対象ホストの [ホスト名] を登録します。



目的のホストがホスト名一覧表(a)に表示されない場合、ドメイン / ワークグループ名一覧表(b)から対象となるドメイン / ワークグループ名を変更してください。その上で(a)に表示されない場合、(c)に直接ホスト名あるいは IP アドレスを入力してください。入力後 [接続チェック] ボタンを押して下さい。

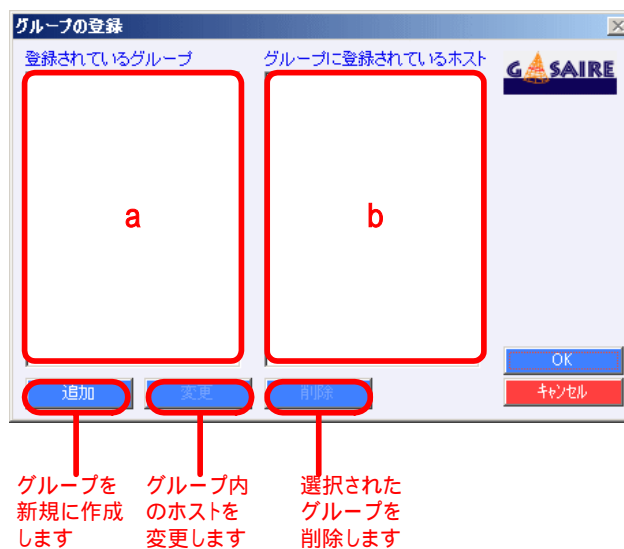
## 4.5 対象グループを登録する

対象グループを登録するために GASAIRE [稼働データの収集 / 監視] 画面から [グループの変更] ボタンを押して下さい。

**\*このボタンは、GASAIRE メインメニューで「ライセンスの追加登録」を行うことで表示されます。詳細は3.追加ライセンスの登録を参照して下さい。**



[グループの登録]画面が表示されます。(a)の部分に登録済みのグループ名が、(b)の部分には(a)で選択されているグループに属するホスト名が表示されます。

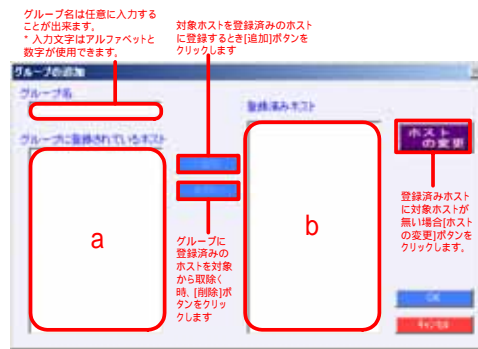


グループの追加... [追加]ボタンをクリックしてください。[グループの追加]画面が現れます。

グループの変更... 対象となるグループをクリックし[変更]ボタンを押して下さい。[グループの変更]画面が現れます。

グループの削除... 対象となるグループをクリックし[削除]ボタンを押して下さい。

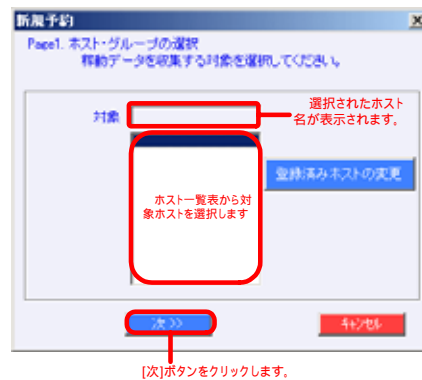
[グループの追加]画面では、登録したいグループ名を入力し、登録済みホストから対象となるホスト名を選択してください。



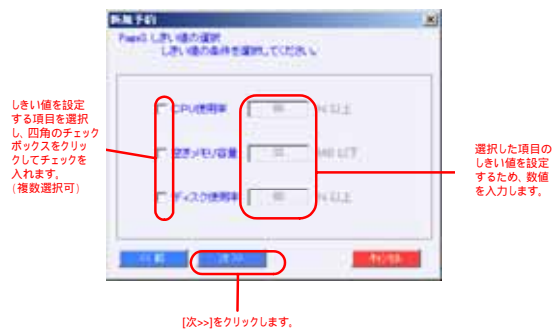
## 4.6 スケジュールの新規予約登録をする

GASAIRE が対象ホストからデータの収集および監視を行うための条件設定をします。スケジュールの他に対象ホストの選択やデータ取得間隔の設定といった諸々の設定を併せて行います。

[新規予約]の[Page.1]で[対象ホスト]の登録を行います。

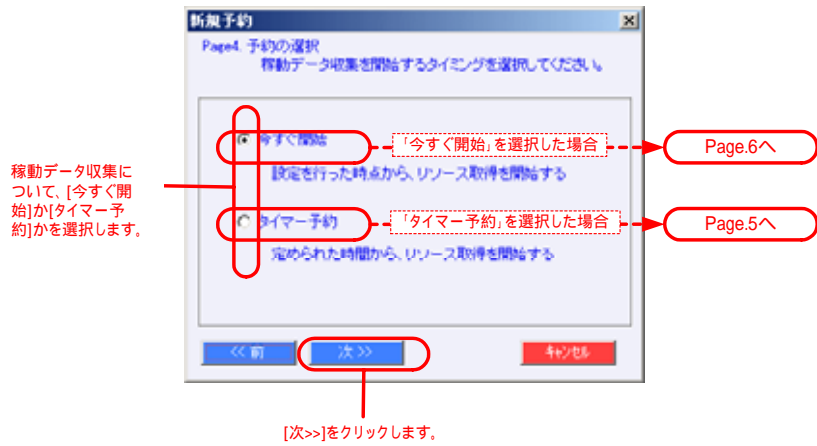


[新規予約]の[Page.2]で[稼働データの取得方法]を選択します。  
[しきい値トリガー]を選択した場合は[Page.3]で[しきい値の選択]を行います。



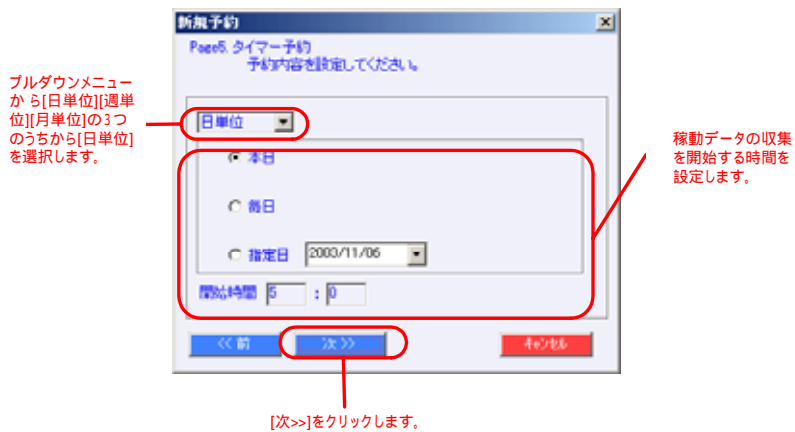
注意：複数のチェックボックスにチェックが入った時は全ての条件が揃った時(AND)が起動条件となります。

[新規予約]の[Page.4]で稼働データ収集を開始するタイミングについて、[今すぐ開始]または[タイマー予約]を選択します。

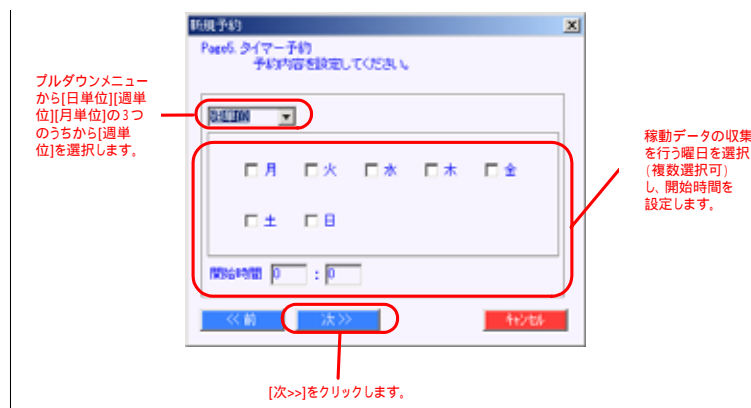


[新規予約]の[Page.5]で[タイマー予約]の設定を行います。

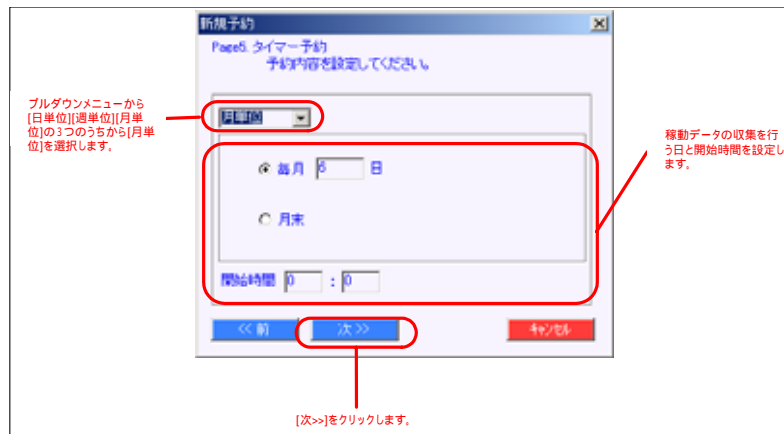
#### [日単位]での設定を行う画面



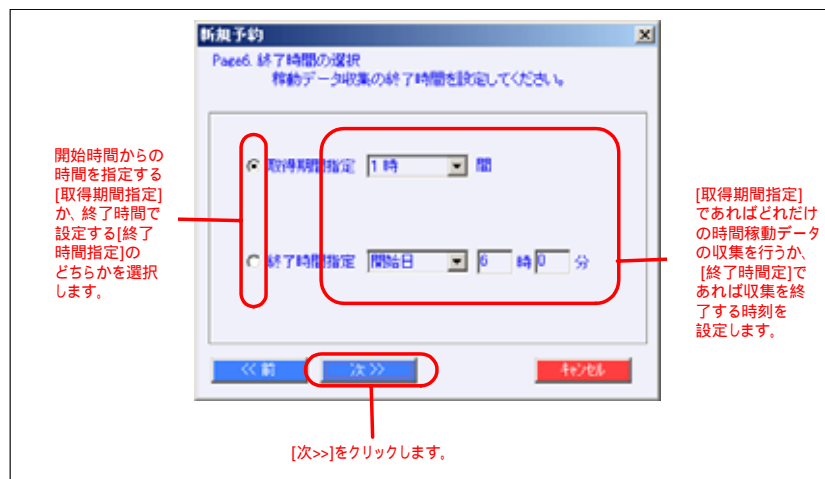
#### [週単位]での設定を行う画面



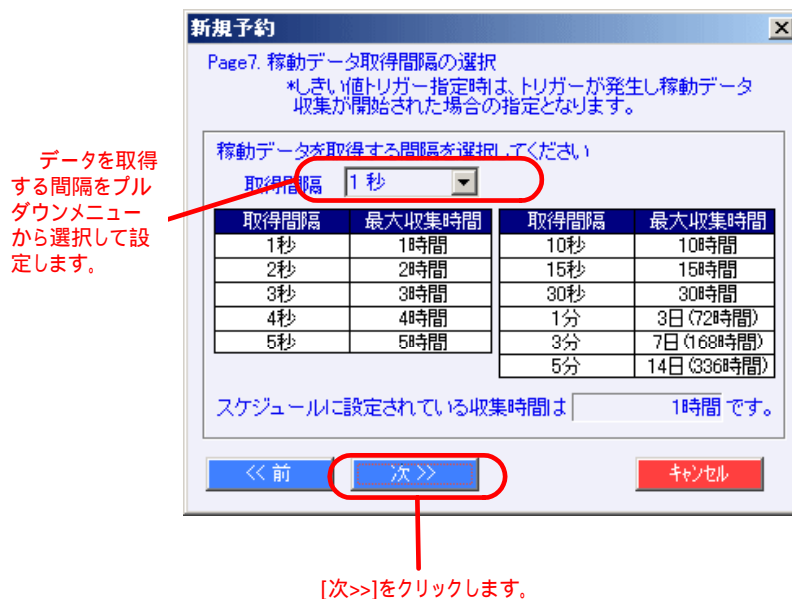
[月単位]での設定を行う画面



[新規予約]の[Page.6]で[終了時間の選択]を行います。



[新規予約]の[Page.7]で[移動データの取得間隔の選択]を行います。



[新規予約]の[Page.8]で[稼働データの分割単位]の設定を行います。

稼働データを途中で確認する必要が無い場合 [設定なし]を選択してください。

稼働データがどのように分割されるのかを確認してください。

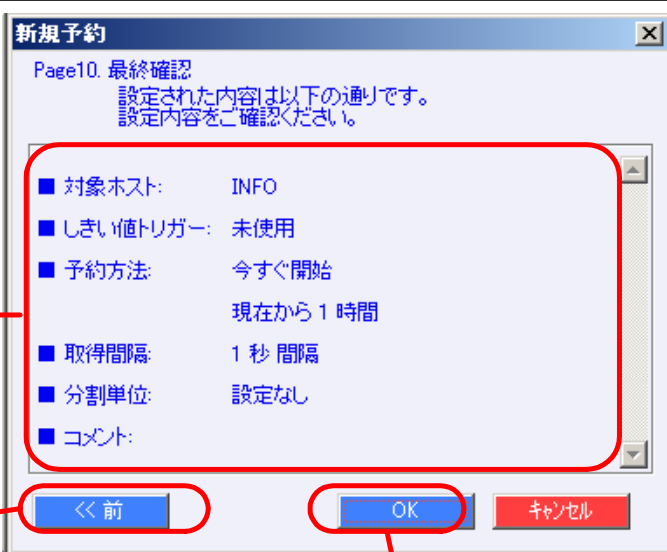
[次>>]をクリックして下さい。

分割単位の設定は 30 分、1時間、2時間から選択できます。分割単位の設定を行うことで、CSV ファイルやグラフを設定された時間毎に分割して生成することができます。

[新規予約]の[Page.9]でこのスケジュールに対してのコメントの入力を行います。(任意)

ログの内容を区別するためにご利用下さい。

[新規予約]の[Page.8]でこれまで設定した予約内容の[最終確認]を行います。



新規予約  
Page10. 最終確認  
設定された内容は以下の通りです。  
設定内容をご確認ください。

- 対象ホスト: INFO
- しきい値トリガー: 未使用
- 予約方法: 今すぐ開始  
現在から1時間
- 取得間隔: 1秒間隔
- 分割単位: 設定なし
- コメント:

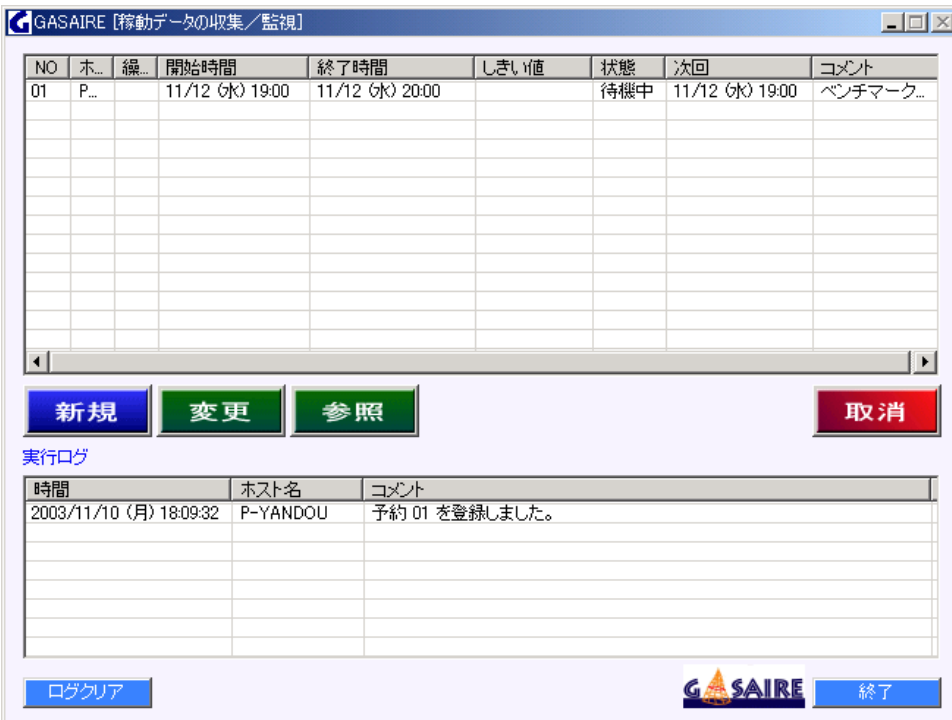
[[<<前]]    [[OK]]    [[キャンセル]]

[予約内容]が正しいか確認します。

修正が必要な場合は、[[<<前]]をクリックして修正する項目のページへ戻り、修正を実行します。

[OK]をクリックします。

**これでスケジュールの新規予約は完了です。**



GASAIRES [移動データの収集/監視]

NO	ホ...	繰...	開始時間	終了時間	しきい値	状態	次回	コメント
01	P..		11/12 (水) 19:00	11/12 (水) 20:00		待機中	11/12 (水) 19:00	ベンチマーク...

新規    変更    参照    取消

実行ログ

時間	ホスト名	コメント
2003/11/10 (月) 18:09:32	P-YANDOU	予約 01 を登録しました。

ログクリア    GASAIRES    終了

## 4.7 スケジュールを変更する

変更したいスケジュールを選択し、カーソルを合わせてクリックします。

NO	主線	開始時間	終了時間	しきい値	状態	次回	コメント
02	T...	05/14 (金)...	05/14 (金)...	...	待機中	05/14 (金) 06:00	...

実行ログ

時間	ホスト名	コメント
2004/05/12 (水) 05:28:39	THINKPAD	予約 02 を登録しました。

[変更]をクリックします。

「3.1 スケジュールの新規予約登録をする」と同様の手順で変更を行います。

予約変更

Page1. ホストの選択  
稼働データを収集する対象を選択してください。

対象 THINKPAD

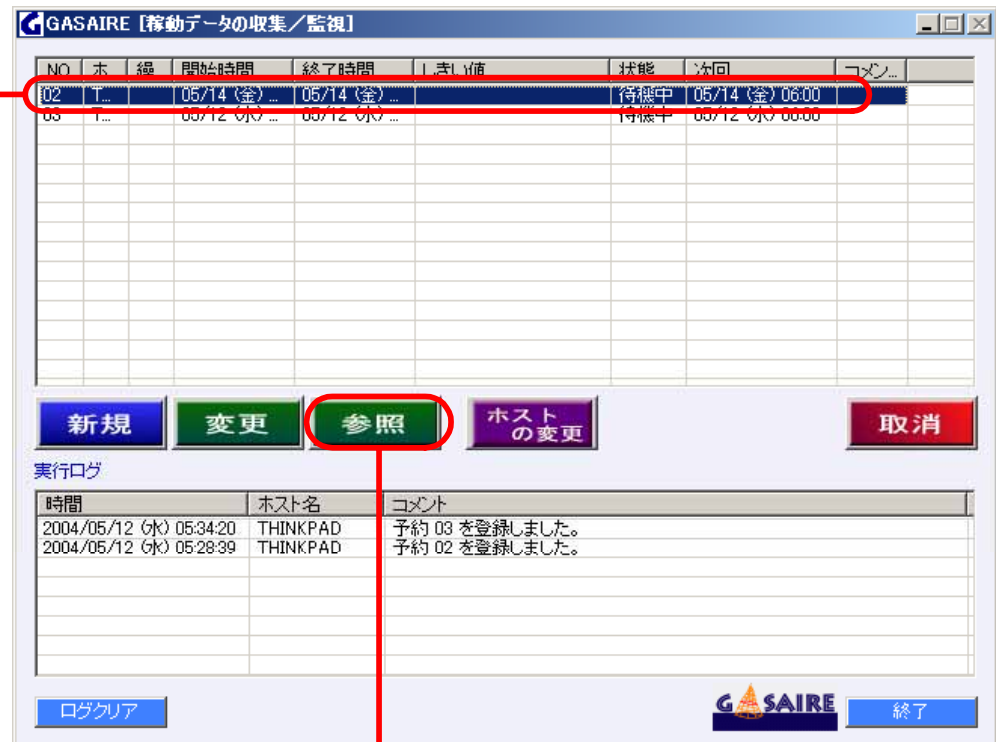
HIRA-LINUX  
HIRA-PC  
TPX20  
THINKPAD

登録済みホストの変更

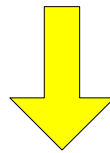
次 >> キャンセル

## 4.8 スケジュールを参照する

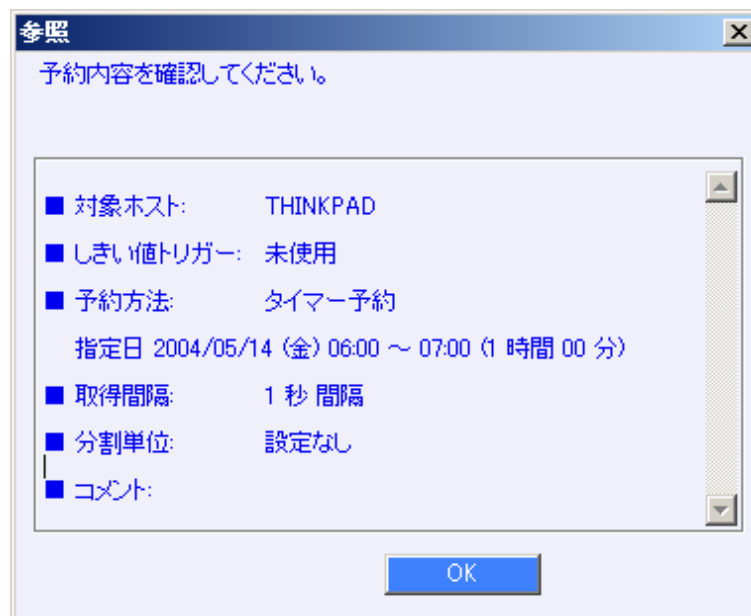
参照したいスケジュールを選択し、カーソルを合わせてクリックします。



[参照]をクリックします。



スケジュールの内容を参照します。



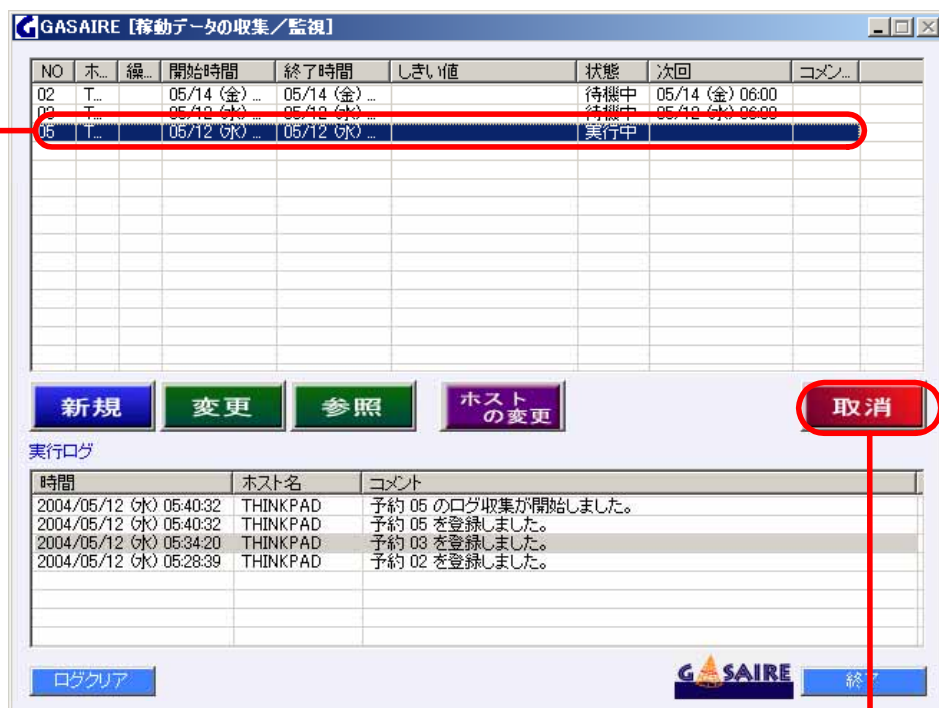
## 49 スケジュールを削除する

ここでは、スケジュールの削除を行います。大きく分けて2つのパターンがあります。

- ・ 実行中のスケジュールを中断し、かつ削除する
- ・ 待機中(予約待ち)のスケジュールを削除する

### [実行中]のスケジュールを中断・削除する

中断・削除したいスケジュールを選択し、カーソルを合わせてクリックします。



[取消]をクリックします。

実行中のスケジュールを  
中断・削除します

## [待機中]のスケジュールを削除する

削除したいスケジュールを選択し、カーソルを合わせてクリックします。

The screenshot shows the 'GASAIRE [稼働データの収集/監視]' window. At the top is a table with columns: NO, ホスト名, 稼働, 開始時間, 終了時間, 止まり値, 状態, 次回, and コメント. Below the table are buttons for '新規', '変更', '参照', 'ホストの変更', and '取消'. Underneath is an '実行ログ' section with a table for '時間', 'ホスト名', and 'コメント'. At the bottom are 'ログクリア' and '終了' buttons.

[取消]をクリックします。

待機中のスケジュールを  
削除します

### 注意:

待機中のスケジュールがある場合でも、[稼働データの収集/監視]画面を終了すると、そのスケジュールは開始時間になっても実行されません。待機中のスケジュールの開始時間前には必ず[稼働データの収集/監視]画面を立ち上げておくようにしてください。

実行中のスケジュールがある場合に[稼働データの収集/監視]画面を終了すると、そのスケジュールは中断されます。実行中のスケジュールがある間は必ず[稼働データの収集/監視]画面を立ち上げておくようにしてください。

作成される稼働データファイルの容量の目安は、以下のようになっております。

	取得時間	取得間隔	ファイル容量
例1	1時間	10秒	約6MB
例2	10時間	10秒	約60MB

稼働データファイルの作成方法について:

作成される稼働データファイルは1ファイル当り最長120分間までとなっています。

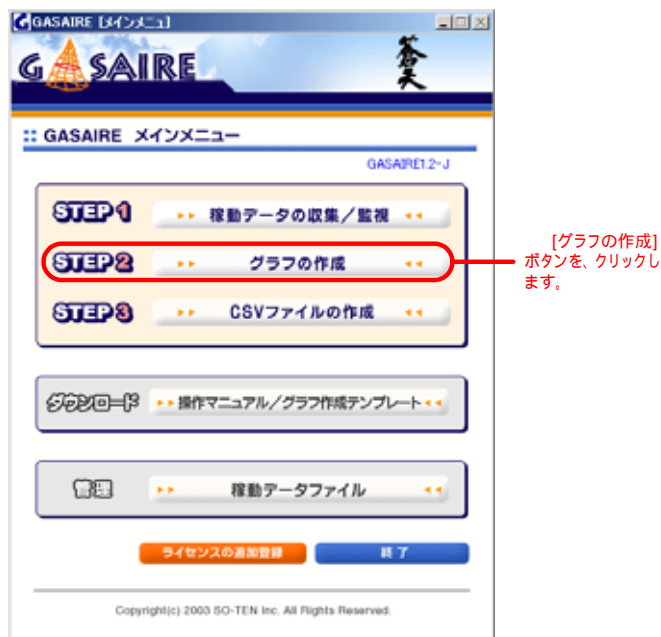
120分間を超えるスケジュールの場合、120分毎に稼働データファイルが作成されますのでご注意ください。

## 5 グラフの作成

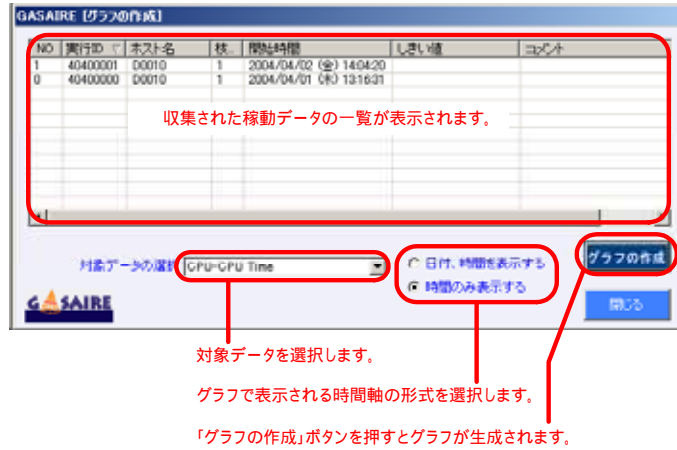
[稼働データの収集 / 監視] で生成された稼働データは、バイナリー形式で保存されています。この稼働データから簡単な操作でグラフを作成します。作成されたグラフはイメージとして Excel や Word などのアプリケーションに貼り付けることができます。

### 1.1 グラフの作成までの一連の流れ

1) GASAIRE メインメニューから「グラフの作成」ボタンをクリックする。



2) グラフの設定ウィンドウからグラフにする対象の稼働データとグラフにする条件を選択する。



稼働データの項目 ... 稼働データには次の項目が表示されています。

また項目名をクリックすることで、その項目のデータを基準とした並べ替えを行うことができます。

実行 ID	稼働データの管理番号です
グループ名	実行されたときのグループ名です。(同時アクセスライセンス使用時のみ表示されます)
ホスト名	実行されたときのホスト名です。
枝番	稼働データを分割されたときの順番を表す番号です。
開始時間	ログの開始時間です
しきい値	しきい値トリガ利用時の条件が表示されます。
コメント	スケジュール登録時のコメントが表示されます。

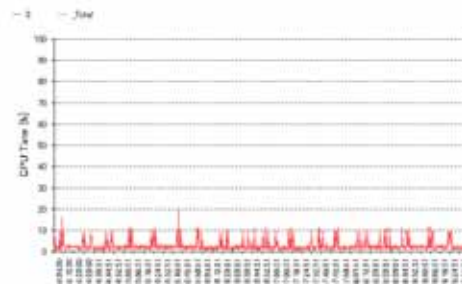
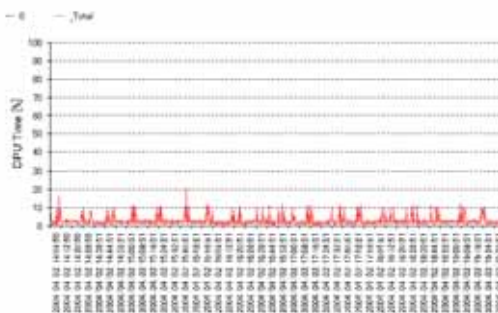
対象データの選択 ... 対象選択には次の項目の中からグラフにしたい項目を選択します。

CPU-CPU Time	CPUの稼働率を表示します。CPU毎の利用率とCPU全体の利用率が表示されます。(TotalがCPU全体の値になります。)
CPU-CPU Privileged Time	CPUの中の特権モードでのCPU利用率を表示します。特権モードとは、主にハードウェアドライバに使用されます。
CPU User Time	CPUの中のユーザモードでのCPU利用率を表示します。ユーザモードとは、主にアプリケーションに使用されます。
Memory-Available Memory [MB]	実メモリーの空き容量をMBで表示します。
Memory-Available Memory [KB]	実メモリーの空き容量をKBで表示します。
Physical Disk-Disk Time	ドライブ毎のディスク使用率を表します。
Logical Disk-Disk Time	パーティション毎のディスク使用率を表します。
Network I/F-Data Transfer Size	ネットワークインターフェース毎のデータ転送量を表します

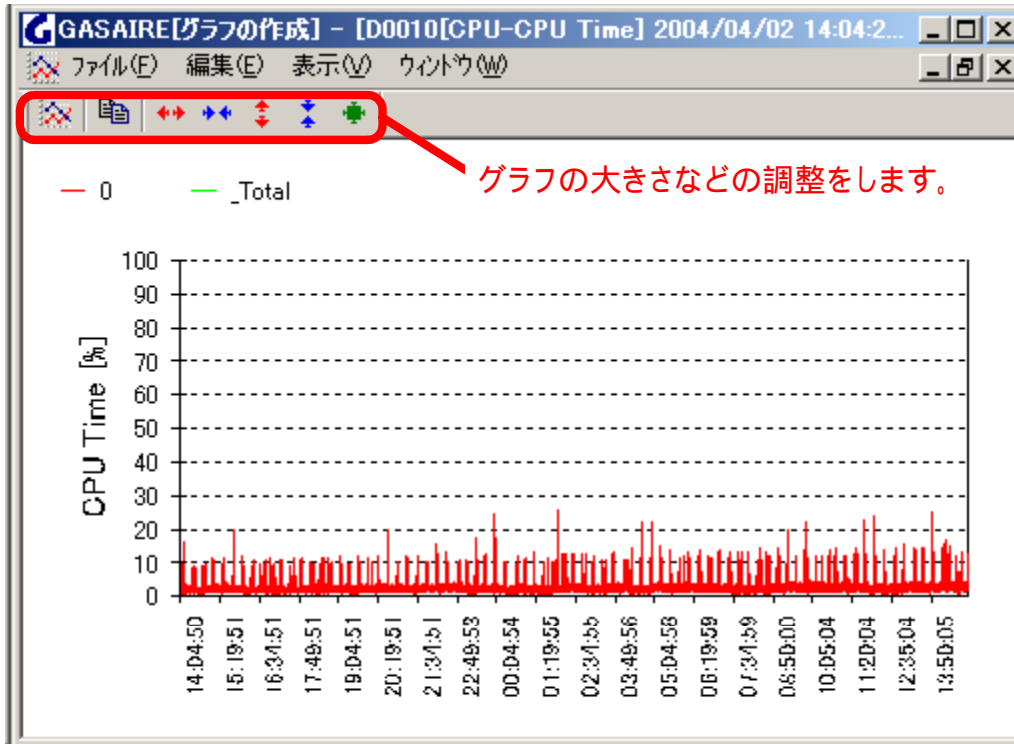
時間軸の表示方法 ... 作成される時間軸に対して「日付」の表示・非表示を選択します。

日付、時間を表示する

時間のみを表示する



### 3) グラフを表示する

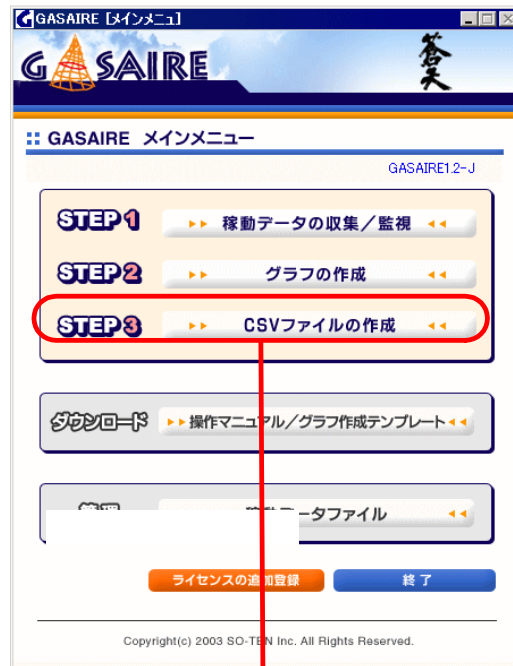


[ファイル] [グラフの追加]		新たにグラフを追加します。この方法により1つの大きなウインドウ内に複数のグラフを追加することが出来ます。
[ファイル] [閉じる]		対象のグラフを消します。
[編集] [コピー]		表示されているグラフをイメージとしてコピーすることが出来ます。
[編集] [形式を選択してコピー]		表示されていない部分を含め全てをコピーします。 *Excelなどに貼り付けるときは、「形式を選択して貼り付ける」を選択してください。
[表示] [ツールバーを表示する]		ツールバーを表示します。
[表示] [ツールバーを非表示にする]		ツールバーを隠します。
[表示] [拡大横]		横(時間軸)に対し2倍にします。
[表示] [縮小横]		横(時間軸)に対し1/2倍にします。
[表示] [拡大縦]		縦(値軸)に対し2倍にします。
[表示] [縮小縦]		縦(値軸)に対し1/2倍にします。
[表示] [標準]		画面のウインドウの大きさに合わせます。
[ウインドウ] [重ねて表示]		同じ稼働データから作成されたグラフを重ねて表示します。
[ウインドウ] [並べて表示]		同じ稼働データから作成されたグラフを縦に並べて表示します。

## 6 CSVファイルの作成

[稼働データの収集 / 監視]で生成されたデータは、バイナリー形式で保存されています。このデータをExcelなどのアプリケーションで取り扱うことのできるようCSVファイルへの変換を行います。GASAIREで収集された稼働データには様々な項目があり、用途に合わせとくに重要な要素だけを取り出す「基本」や各プロセスごとの利用状況を取り出す「プロセス」等を選択し、CSVファイルへの変換に関する条件を設定することが可能です。

[CSVファイルの作成]の設定は以下の画面で行います。



[CSVファイルの作成]をクリックします。



すでに作成された稼働データのファイルが一覧表示されます。

\*作成されている稼働データファイルについては「注1」をご参照下さい。どのような視点でCSVファイルを作成するかを設定します。

[リソース別データ]をCSVファイルに変換する場合、どのリソースを対象とするか選択します。

CSVファイルを作成した履歴が表示されます。

[プロセス別データ]をCSVファイルに変換する際にどのプロセスを対象とするか選択します。

このボタンをクリックするとCSVファイルの作成が実行されます。

このボタンをクリックすると[CSVファイルの作成]画面を終了します。

### 注1

作成されている稼働データファイルは1ファイル当り最長120分間までとなっています。

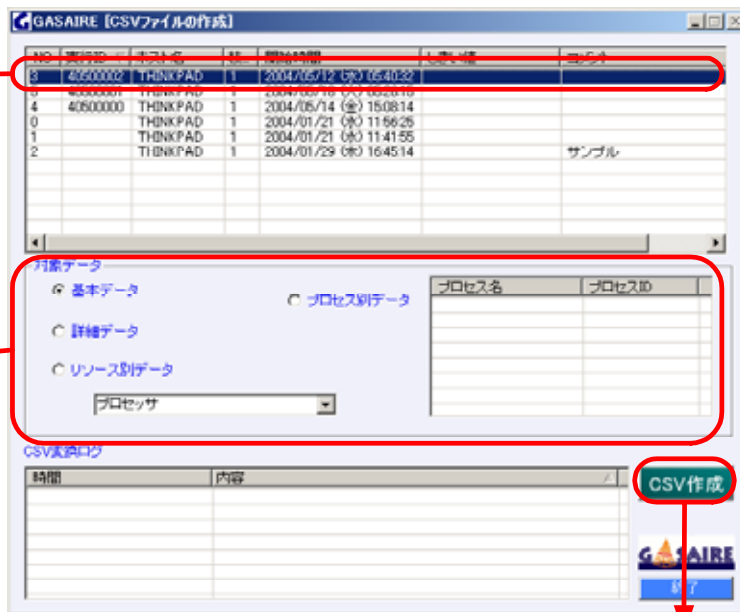
120分間を超えるスケジュールであった場合、120分毎の開始時間で稼働データファイルが作成されていますので注意下さい。

[CSVファイルの作成]画面でCSVに変換するデータの内容を設定します。

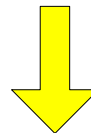
[CSVファイルの作成]の対象とする稼働データを選択し、カーソルを合わせてクリックします。

選択した稼働データから、どのようなデータを抽出してCSVファイルに変換するかを設定します。

CSVファイルに出力されるデータの詳細は、「GASAIRE測定稼働データ一覧表」をご参照ください。



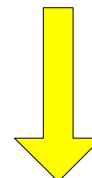
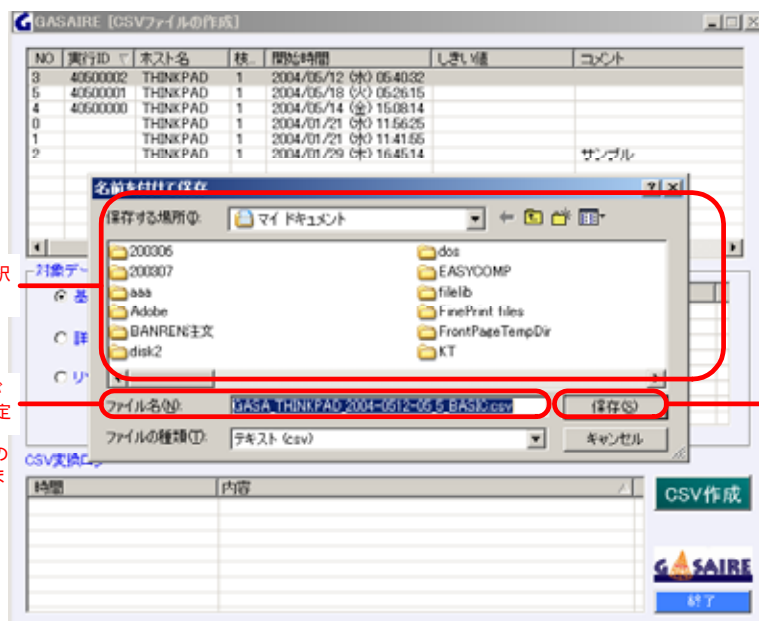
[CSV作成]ボタンをクリックします。



CSVファイルの保存先を選択します。

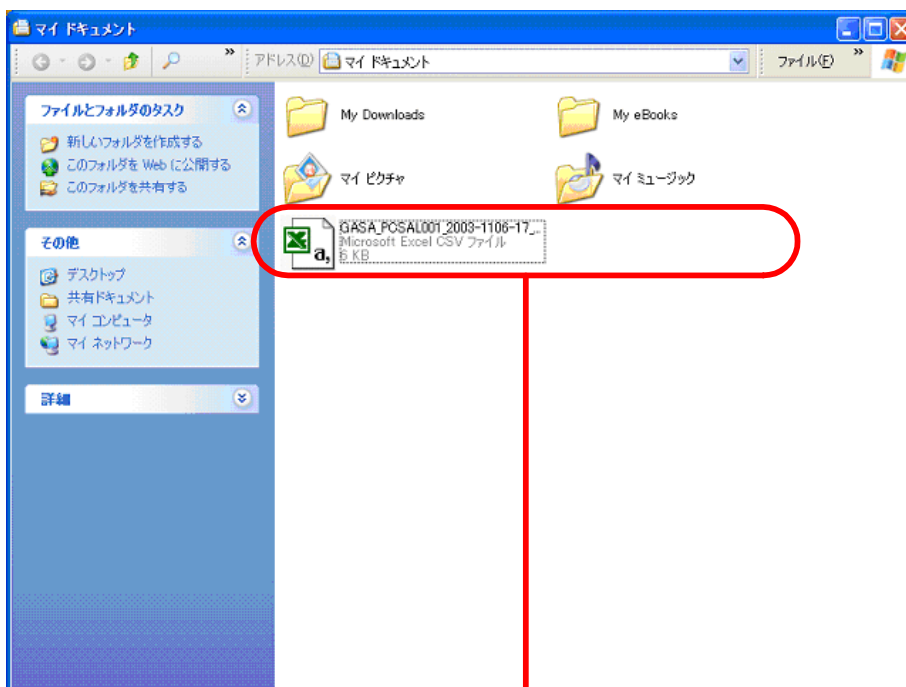
ファイル名を確認し、必要があれば変更します。初期設定は「GASA-ホスト名-稼働データ取得時間-CSV作成の対象設定」で命名されています。

[保存]をクリックし、CSVファイルを選択された保存先へ保存します。

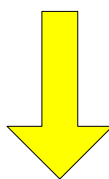


これで[CSVファイルの作成]は完了です。

作成したCSVファイルを確認します。



作成されたCSVファイルをダブルクリックします。



開いたファイルを確認します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1		コメント	サンプルデータ									
2		しきい値(未使用)										
3		CPU	CPU	Memory	Physical D	Physical D	Logical D	Logical D	Logical D	Logical D	Network I/	
4		CPU Time	CPU Time	Available M	Disk Time	Disk Time	Disk Time	Disk Time	Disk Time	Disk Time	Data Trans	
5		0, Total	0, Total		0, Total	0, Total	C	D	E	Total	Intel 8255	
6	2003/11/7	15:20:10	25.00%	25.00%	23912448	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	156858.8
7	2003/11/7	15:20:11	11.00%	11.00%	24711168	0.04%	0.04%	0.04%	0.00%	0.00%	0.01%	87971.29
8	2003/11/7	15:20:12	14.00%	14.00%	24227840	8.45%	8.45%	8.46%	0.00%	0.00%	2.82%	87748.32
9	2003/11/7	15:20:13	20.20%	20.20%	24113152	0.17%	0.17%	0.17%	0.00%	0.00%	0.06%	89155.73
10	2003/11/7	15:20:14	7.00%	7.00%	24100864	0.14%	0.14%	0.14%	0.00%	0.00%	0.05%	88184.82
11	2003/11/7	15:20:15	7.00%	7.00%	25071616	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	88294.46
12	2003/11/7	15:20:16	16.98%	16.98%	24838144	5.37%	5.37%	5.38%	0.00%	0.00%	1.79%	84294.24
13	2003/11/7	15:20:17	36.52%	36.52%	24089576	67.58%	67.58%	67.64%	0.00%	0.00%	22.55%	86167.77
14	2003/11/7	15:20:18	65.12%	65.12%	24588288	100.00%	100.00%	100.00%	0.00%	0.00%	40.66%	120133.5
15	2003/11/7	15:20:19	15.05%	15.05%	24592384	0.93%	0.93%	0.94%	0.00%	0.00%	0.31%	94950.11
16	2003/11/7	15:20:20	18.18%	18.18%	24567908	0.05%	0.05%	0.04%	0.00%	0.00%	0.01%	89799.46
17	2003/11/7	15:20:21	7.00%	7.00%	24551424	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	89529.36
18	2003/11/7	15:20:22	6.00%	6.00%	24551424	1.11%	1.11%	1.12%	0.00%	0.00%	0.37%	88716.15
19	2003/11/7	15:20:23	7.00%	7.00%	24535040	2.40%	2.40%	2.42%	0.00%	0.00%	0.81%	88536.02
20	2003/11/7	15:20:24	6.00%	6.00%	24694784	0.51%	0.51%	0.51%	0.00%	0.00%	0.17%	88715.73
21	2003/11/7	15:20:25	5.00%	5.00%	24698880	0.04%	0.04%	0.03%	0.00%	0.00%	0.01%	88524.82
22	2003/11/7	15:20:26	10.00%	10.00%	24662016	3.21%	3.21%	3.21%	0.00%	0.00%	1.07%	88719.89
23	2003/11/7	15:20:27	9.08%	9.08%	24653824	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	89387.33
24	2003/11/7	15:20:28	8.00%	8.00%	24829952	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	89674.89
25	2003/11/7	15:20:29	15.00%	15.00%	24604672	15.41%	15.41%	15.42%	0.00%	0.00%	5.14%	84571.81
26	2003/11/7	15:20:30	35.00%	35.00%	24223744	11.31%	11.31%	11.33%	0.00%	0.00%	3.78%	88701.69

# GASAIRE 測定稼動データ一覧表

CSVファイルに出力されるデータの詳細は、以下の表のようになります。

測定稼動データ		CSVファイル項目名			csvファイルへの出力項目						
リソース	稼動データ種別	リソース	稼動データ種別	単位	基本データ	詳細データ	リソース別				
							CPU	メモリー	物理ディスク	論理ディスク	ネットワーク
CPU	CPU利用率	CPU	CPU %	%							
	特権モードでのCPU利用率	CPU	CPU Privileged %	%							
	ユーザーモードでのCPU利用率	CPU	CPU User %	%							
メモリー	メモリー空き容量	Memory	Available Memory (Bytes)	バイト							
	仮想メモリー読み回数	Memory	Page Read (Pages)								
	仮想メモリー書き込み回数	Memory	Page Write (Pages)								
	仮想メモリー読み量	Memory	Page Input (Page/sec)	ページ/秒							
	仮想メモリー書き込み量	Memory	Page Output (Page/sec)	ページ/秒							
物理ディスク (ディスクドライブ)	仮想メモリー量	Memory	Committed (Byte)	バイト							
	ディスク利用率	Physical Disk	Disk Occupant %	%							
	ディスク読み込み利用率	Physical Disk	Disk Read Occupant %	%							
	ディスク書き込み利用率	Physical Disk	Disk Write Occupant %	%							
	データ転送量	Physical Disk	Disk Transfer (Byte/sec)	バイト/秒							
	データ読み込み量	Physical Disk	Disk Read Transfer (Byte/sec)	バイト/秒							
論理ディスク (パーティション)	データ書き込み量	Physical Disk	Disk Write Transfer (Byte/sec)	バイト/秒							
	ディスク空き容量	Physical Disk	Free (MB)	MB							
	ディスク利用率	Logical Disk	Disk Occupant %	%							
	ディスク読み込み利用率	Logical Disk	Disk Read Occupant %	%							
	ディスク書き込み利用率	Logical Disk	Disk Write Occupant %	%							
	データ転送量	Logical Disk	Disk Transfer (Byte/sec)	バイト/秒							
ネットワーク	データ読み込み量	Logical Disk	Disk Read Transfer (Byte/sec)	バイト/秒							
	データ書き込み量	Logical Disk	Disk Write Transfer (Byte/sec)	バイト/秒							
	ディスク空き容量	Logical Disk	Free (MB)	MB							
	データ転送量	Network I/F	Data Trans (Byte/sec)	バイト/秒							
	ネットワーク帯域幅	Network I/F	Bandwidth (MB)	MB							
	パケット受信量	Network I/F	Packets Receive (packets/sec)	パケット/秒							
	非ユニキャストでのパケット受信量	Network I/F	Packets Receive Non-Unicast (packets/sec)	パケット/秒							
	ユニキャストでのパケット受信量	Network I/F	Packets Receive Unicast (packets/sec)	パケット/秒							
	パケット送信量	Network I/F	Packets Send (packets/sec)	パケット/秒							
	ユニキャストでのパケット送信量	Network I/F	Packets Send Unicast (packets/sec)	パケット/秒							
	非ユニキャストでのパケット送信量	Network I/F	Packets Send Non-Unicast (packets/sec)	パケット/秒							
プロセス	接続ミス数	TCP	Connection Failures Count								
	ACTIVE接続数	TCP	Connection Active Count								
	PASSIVE接続数	TCP	Connection Passive Count								
	CPU利用率	Process	CPU %	%							
	特権モードでのCPU利用率	Process	CPU Privileged %	%							
	ユーザーモードでのCPU利用率	Process	CPU User %	%							
	IO読み込み量	Process	IO Read (Byte/sec)	バイト/秒							
	IO書き込み量	Process	IO Write (Byte/sec)	バイト/秒							
	仮想メモリー使用量	Process	Page File (Byte)	バイト							
仮想メモリー使用量(ピーク時)	Process	Peak Page File (Byte)	バイト								
スレッド数	Process	Thread Count									

出力される各データについての解説を下表に記します。

測定稼働データ		CSVファイル項目名			各データの概略
リソース	稼働データ種別	リソース	稼働データ種別	単位	
CPU	CPU利用率	CPU	CPU %	%	CPUが利用された時間の割合
	特権モードでのCPU利用率	CPU	CPU Privileged %	%	特権モード(主にOSやドライバで利用)として利用された時間の割合
	ユーザモードでのCPU利用率	CPU	CPU User %	%	ユーザモード(主にユーザアプリケーションで利用)として利用された時間の割合
メモリー	メモリー空き容量	Memory	Available Memory (Bytes)	バイト	メモリーの空き容量。システムの安定のためには出来るだけ多く空いている事が望ましい。
	仮想メモリー読み回数	Memory	Page Read (Pages)		ハードディスクにある仮想メモリー(ページング)からデータを読込まれた回数
	仮想メモリー書き込み回数	Memory	Page Write (Pages)		ハードディスクにある仮想メモリー(ページング)からデータが書込まれた回数
	仮想メモリー読み量	Memory	Page Input (Page/sec)	ページ/秒	ハードディスクにある仮想メモリー(ページング)からデータを読込まれたページ数
	仮想メモリー書き込み量	Memory	Page Output (Page/sec)	ページ/秒	ハードディスクにある仮想メモリー(ページング)からデータが書込まれたページ数
	仮想メモリー量	Memory	Committed (Byte)	バイト	システムに割当てられた仮想メモリー量
物理ディスク (ディスクドライブ)	ディスク利用率	Physical Disk	Disk Occupant %	%	各ディスクが読み・書き込みを利用された時間の割合(稼働データ取得間隔の時間内での割合)
	ディスク読み利用率	Physical Disk	Disk Read Occupant %	%	各ディスクが読み込みを利用された時間の割合
	ディスク書き込み利用率	Physical Disk	Disk Write Occupant %	%	各ディスクが書き込みを利用された時間の割合
	データ転送量	Physical Disk	Disk Transfer (Byte/sec)	バイト/秒	各ディスクのデータ転送量
	データ読み量	Physical Disk	Disk Read Transfer (Byte/sec)	バイト/秒	各ディスクからデータを読込まれた量
	データ書き込み量	Physical Disk	Disk Write Transfer (Byte/sec)	バイト/秒	各ディスクへデータを書込まれた量
	ディスク空き容量	Physical Disk	Free (MB)	MB	各ディスクの空き容量
論理ディスク (パーティション)	ディスク利用率	Logical Disk	Disk Occupant %	%	各パーティションが読み・書き込みを利用された時間の割合(稼働データ取得間隔の時間内での割合)
	ディスク読み利用率	Logical Disk	Disk Read Occupant %	%	各パーティションが読み込みを利用された時間の割合
	ディスク書き込み利用率	Logical Disk	Disk Write Occupant %	%	各パーティションが書き込みを利用された時間の割合
	データ転送量	Logical Disk	Disk Transfer (Byte/sec)	バイト/秒	各パーティションが読み・書き込みを利用されたデータ転送量
	データ読み量	Logical Disk	Disk Read Transfer (Byte/sec)	バイト/秒	各パーティションからデータを読込まれた量
	データ書き込み量	Logical Disk	Disk Write Transfer (Byte/sec)	バイト/秒	各パーティションへデータを書込まれた量
	ディスク空き容量	Logical Disk	Free (MB)	MB	各パーティション毎の空き容量です。
ネットワーク	データ転送量	Network I/F	Data Trans (Byte/sec)	バイト/秒	各ネットワークインターフェースのデータ転送量
	ネットワーク帯域幅	Network I/F	Bandwidth (MB)	MB	各ネットワークインターフェースの帯域
	パケット受信量	Network I/F	Packets Receive (packets/sec)	パケット/秒	各ネットワークインターフェースが受信したパケット量
	非ユニキャストでのパケット受信量	Network I/F	Packets Receive Non-Unicast (packets/sec)	パケット/秒	各ネットワークインターフェースが受信した非ユニキャストのパケット量
	ユニキャストでのパケット受信量	Network I/F	Packets Receive Unicast (packets/sec)	パケット/秒	各ネットワークインターフェースが受信したユニキャストのパケット量
	パケット送信量	Network I/F	Packets Send (packets/sec)	パケット/秒	各ネットワークインターフェースが送信したパケット量
	ユニキャストでのパケット送信量	Network I/F	Packets Send Unicast (packets/sec)	パケット/秒	各ネットワークインターフェースが送信した非ユニキャストのパケット量
	非ユニキャストでのパケット送信量	Network I/F	Packets Send Non-Unicast (packets/sec)	パケット/秒	各ネットワークインターフェースが送信したユニキャストのパケット量
	接続ミス数	TCP	Connection Failures Count		ネットワーク接続に失敗した回数
	ACTIVE接続数	TCP	Connection Active Count		クライアントからサーバへ接続を行なった回数
PASSIVE接続数	TCP	Connection Passive Count		サーバからクライアントへ接続を行なった回数	
プロセス	CPU利用率	Process	CPU %	%	指定されたプロセスによるCPU利用率
	特権モードでのCPU利用率	Process	CPU Privileged %	%	指定されたプロセスによる特権モードでのCPU利用率
	ユーザモードでのCPU利用率	Process	CPU User %	%	指定されたプロセスによるユーザモードでのCPU利用率
	IO読み込み量	Process	IO Read (Byte/sec)	バイト/秒	指定されたプロセスによるデータの読み込み量
	IO書き込み量	Process	IO Write (Byte/sec)	バイト/秒	指定されたプロセスによるデータの書き込み量
	仮想メモリー使用量	Process	Page File (Byte)	バイト	指定されたプロセスによるページファイルの平均利用量
	仮想メモリー使用量(ピーク時)	Process	Peak Page File (Byte)	バイト	指定されたプロセスによるページファイルの最大利用量
	スレッド数	Process	Thread Count		指定されたプロセスが使用しているスレッド数

## 7 稼動データファイルの管理

稼動データファイルは取得間隔が1秒の場合1時間で250MBにも及ぶ場合があります。このため[稼動データファイルの管理]で稼動データをより大きなディスクなどに移動したり、不要なデータを削除するための設定を必要に応じて行います。

[稼動データファイルの管理]の設定は以下の画面で行います。

すべてのチェックボックスにチェックマークを入れます。

チェックボックスに入っているチェックマークを全て外します。

選択されたファイルのチェックボックス全てにチェックマークを入れます。

各ファイルのデータ収集が行われた時間を[収集時間]の欄に表示させます。

生成済の各ファイルに関する情報を一覧表示します。

チェックボックスにチェックマークが入られているファイルを削除します。

チェックボックスにチェックマークが入られているファイルを指定のフォルダへ移動します。

過去に別のフォルダへ移動したファイルを元のフォルダへ戻します。

GASAIREによって生成される稼動データのファイルの保存先を変更します。

[ログ管理]の画面を終了させます。

ファイル名	取得間隔	取得時間	ファイルサイズ	フォーマット	シリアル
T-INKPAD	2014/01/21 00:01		100,001,577		-
T-INKPAD	2014/01/21 00:01		51,4607		1
T-INKPAD	2014/01/23 00:10		1,3215	センサ	2
T-INKPAD	2014/05/12 00:05		1,076,770		-
T-INKPAD	2014/05/14 00:15		930,07		4
T-INKPAD	2014/05/13 00:05		1,047,400		-

### 注意:

[保存フォルダの変更]を行う場合、必ず [稼動データの測定 / 監視] 画面を終了してから行ってください。

[時間表示] はファイル数が多い場合、またはファイル容量が大きい場合、表示までの処理に数分かかる場合があります。